

ただ 町政を質す



9月定例会の初日(9/6)に次の事項について一般質問が行われました。(通告順)

- ◆ 中村 忠行 議員 …………… P9
 - ①カムロ一帯の収益性改善策は
- ◆ 大場 洋介 議員 …………… P10
 - ①様々な災害対策について
 - ②成年後見等の権利擁護支援体制について
- ◆ 沼澤 道也 議員 …………… P11
 - ①ふるさと納税について
 - ②教育に関する事
- ◆ 須藤 典夫 議員 …………… P12
 - ①グリーンバレー神室の今後の姿について、最終方針はどのようになったのか
 - ②中央公民館跡地の整備計画はどのようになるのか
- ◆ 星川 智子 議員 …………… P13
 - ①中央公民館跡地を役場の駐車場として全面改造を
- ◆ 早坂 憲明 議員 …………… P14
 - ①持続可能な町づくりについて



執行部席

一般質問とは

年4回の定例会で行う。議員が町の行政全般について、事業執行の状況や将来の方針等について所信を質し、あるいは、報告や説明を求めるなどの政策論議の場である。

町議会では、質問要旨を事前に通告することとし、60分という限られた時間内で、大所高所からの建設的で簡明な質問が求められている。

カムロ一帯の改善策は

回答 収支不足を3000万円以下に



中村 忠行 議員

神室スキー場の経営改善策は

中村 忠行 議員 譲渡の方針での経営改善策は、産業課長 町内の建設事業者や全国でもスキー場経営の実績が豊富な民間企業、全国でも複数のスキー場を経営している事業者、東北索道協会などに打診したが町の負担や収益性の点で難しいとのことであった。

中村 議員 土日休日のみの日中営業なら人件費程度の収入は見込めるのでは。

産業課長 土日休日年末年始の日中だけの営業

業であつても営業した日の利用者数が減らないこととした場合、リフト使用料は約半減の480万円程度と見込まれるが、営業日が減少することでシーズン券購入者が減ること、ナイター営業をしないことで魅力が落ちることから、480万円よりも落ち込むものと考えられる。

土日休日年末年始の日中営業とした場合の人件費380万円をリフト収入で、平年並みの降雪状況であれば何とか賄えるものと考えられるが、その他の経費を考えると大きな赤字状況にあることになりはしない。

神室スキー場存続のために他の事業をどれだけ削減できるかなど、町の財政状況も踏まえて総合的かつ慎重に判断する必要がある。

ホットハウスカムロの存続判断基準は

中村 議員 ホットハウスカムロは社会福祉施設や健康増進施設と捉え、交流人口創出や就業の場確保として、人件費程度の収入があれば存続すべきでは。

産業課長 グリーンバレー全体での予算が3000万円以下に抑えられるかが一つの基準となる。

今年度の料金改定を踏まえ、利用客数が令和3年度よりも減少することがなければ、概ね人件費程度の収入が確保できるのではないかと見込んでいる。

ホットハウスカムロの存続判断については、その施設の必要度と共に安全性や他の町民サービスをどのくらいまで削減して予算をグリーンバレーに集中すべきか、今後1年程度か



神室スキー場

けて慎重に検討する必要があると考えている。町唯一の温泉施設であり、町民アンケートでも存続の声が多い施設であった。

今年度から健康づくりプロジェクトチーム発案の健康増進の啓蒙活動を進めており、町民の健康増進のために有効な施策を、限りある財源の中で今後とも生み出していきたいと考えている。

ホットハウスカムロに関し、もう1年程度継続して検討していきたいと考えている。